

社員・地域・顧客に「おもてなし」をすることで、
健全な経営を実践している中小企業・小規模企業を表彰する



三重のおもてなし 経営企業選

～ 令和3年度受賞企業のご紹介～



株式会社オクムラ



紙小津産業株式会社



クラギ株式会社



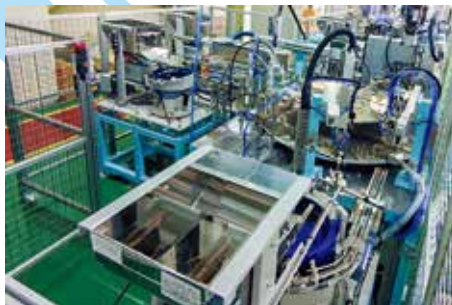
三昌物産株式会社



株式会社 PlanB



三重化学工業株式会社



三重電子株式会社



有限会社ラ・ディッシュ

三重県

三重のおもてなし経営企業選への期待

「三重のおもてなし経営企業選」は、平成26年4月に施行した「三重県中小企業・小規模企業振興条例」に基づき創設した表彰制度で、今年度で8回目の表彰となります。令和2年度までに28社の企業を「三重のおもてなし経営企業」として表彰しており、令和3年度には新たに8社の企業を表彰しました。

本県の中小企業・小規模企業は、県内企業数の99.8%、従業員総数の88.3%を占めており、地域の雇用や経済、社会を支えている重要な存在です。本企業選は、このような中小企業・小規模企業の中で、「社員・地域・顧客」へ「おもてなし」の観点から経営を実践している企業に光をあて、その魅力を情報発信するとともに、「おもてなし経営」という経営モデルを広めていくことを目的としています。

今回ご紹介する令和3年度表彰企業は、「おもてなし経営」に取り組むことで、社員・地域・顧客を大切にしながら、社会の変化にも対応して発展を続けています。近年、デジタル化の進展や社会の脱炭素化など、中小企業・小規模企業を取り巻く環境が大きく変わりつつあるなか、企業には、「アフターコロナ」を見据えながら、社会の変化に対応していくことが求められています。今回表彰された各企業の取組を通じて、県内企業が「おもてなし経営」への理解を深め、社員を大切にしながら地域や顧客のニーズの変化に的確に対応した経営に取り組んでいただくことにより、競争力や事業継続力の向上、新たな雇用の創出につなげ、地域経済活性化の原動力となることを期待しています。



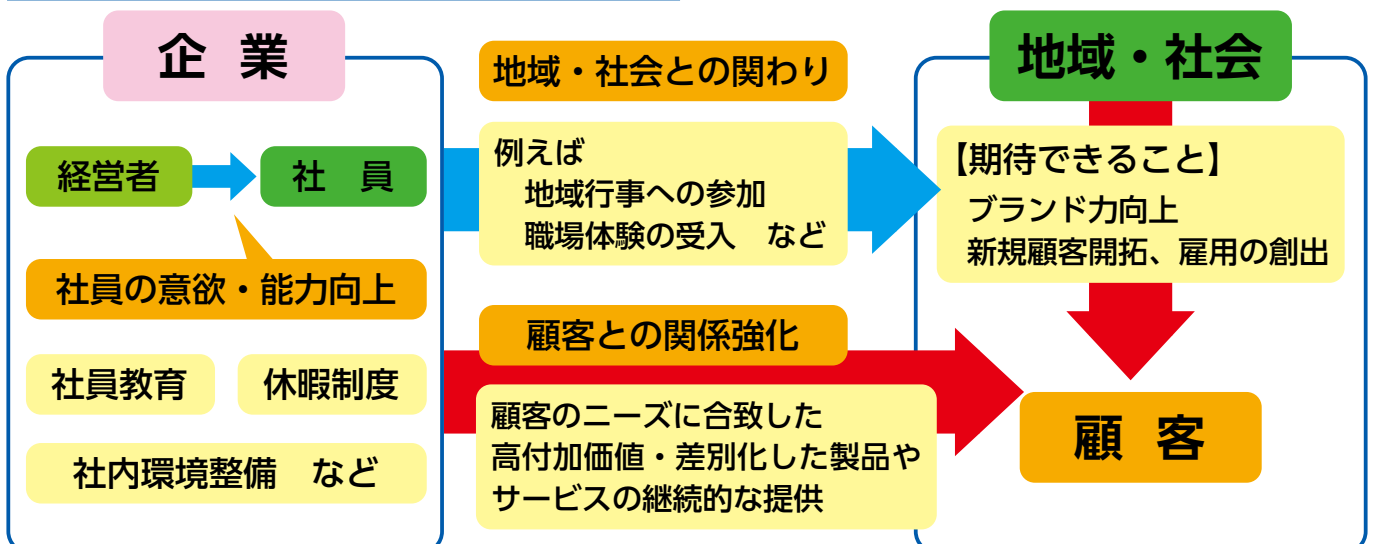
令和4年3月
三重県知事 一見 勝之

「三重のおもてなし経営」とは

- 1 社員の意欲と能力を最大限に引き出し
- 2 地域・社会との関わりを大切にしながら
- 3 顧客にとって高付加価値で差別化された製品やサービスを提供している経営のことです。

社員、地域、顧客の三者への「おもてなし」を実践することで、過度の価格競争に陥ることなく、地域において事業の継続的発展が期待できる経営のモデルと位置付けています。サービス業をはじめ、製造業やあらゆる業種にとって、重要なキーワードと考えています。

「三重のおもてなし経営企業選」のコンセプト



令和3年度受賞企業

株式会社オクムラ

松阪市曲町 637-1

TEL 0598-23-4059 FAX 0598-23-2708

HP <http://www.okumura-rubber.co.jp/>



紙小津産業株式会社

松阪市中央町 384-1 OZ ビル

TEL 0598-51-0003 FAX 0598-51-0080

HP <https://kamioz.jp/>



クラギ株式会社

松阪市川井町 539

TEL 0598-26-1111 FAX 0598-26-1113

HP <http://nogyoya.jp/>



三昌物産株式会社

四日市市塩浜 180 番地

TEL 059-345-0921 FAX 059-346-6803

HP <https://www.sansho-bussan.co.jp/>



株式会社 PlanB

四日市市諏訪栄町 1 番 2-1301 号プレイズ四日市

TEL 059-347-5081 FAX 059-347-5082

HP <http://planb-shirayuri.com/>



三重化学工業株式会社

松阪市大口町 262 番地 1

TEL 0598-51-2361 FAX 0598-51-1143

HP <http://www.miekagaku.co.jp/>



三重電子株式会社

多気郡明和町蓑村 1168 番地

TEL 0596-52-5281 FAX 0596-52-5795

HP <https://mie-elec.co.jp/>



有限会社ラ・ディッシュ

三重郡朝日町大字小向 827 番地 19

TEL 059-333-5772 FAX 059-336-5039

HP <https://ladish.co.jp/>



株式会社オクムラ (松阪市)

ひとつのチームで！ひとつの心で！

自動車用樹脂ホースの製造を中心に、産業用・医療用チューブの開発にも注力するなど、事業範囲の拡大を進めている。地元企業や地域の方々とのつながりを大切にし、松阪市内に本社工場、広陽工場（第一工場・第二工場）、松阪工場の3拠点を展開している。

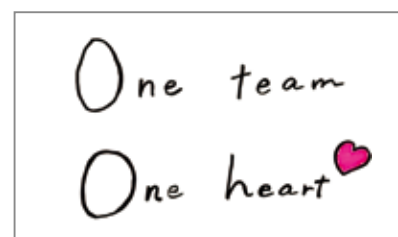
- 創業 1973年
- 従業員数 230人
- 資本金 8000万円
- 代表取締役社長 田中 寛人



One team One heart

カイゼン提案やヒヤリハットを出し合う「カイゼン活動」を推進し、社員が主体性を持つことで、働く楽しさを感じてもらおう取組を行っている。また、カイゼン成果を発表する「ミニカイゼン発表会」を実施し、全社員に成果を共有できる体制を整えている。

同社独自の福利厚生として、月に一回、豪華ランチをワンコインで食べながらコミュニケーションを深める「スペシャルランチデー」があるが、これは社員の声から生まれた制度である。さらに、新入社員が早く会社に馴染めるように、新入社員紹介を中心とした社内報「ひとつのチームで！ひとつの心で！」を作成するなど、社員同士のつながりや交流を深める取組を大切にしている。



社員の手書きロゴマーク



コミュニケーションを大切にした職場

人が活きるモノづくりへの挑戦

自動車業界で培ったチューブ製造の技術を、産業用・医療用チューブの開発などに拡大し、事業3本柱の確立を実現。医療分野においては、長年培った自動車重要保安部品の製造技術を医療機器製造へ活かすなど、顧客にとって高付加価値で差別化された製品を提供するため、試作・開発体制の設備投資を積極的に行っている。

人の手による熟練の技とDXの両方を大切にした、人が活きるモノづくりに挑戦し続けている。

地域貢献の取組

コロナ禍のマスク不足の時期、自社の持つ樹脂加工の技術を活用してフェイスシールドを開発し、地域貢献として地元の学校や自治体へ寄贈を行った。

また、地元小学校に対して、社会見学の受け入れや、「奥村文庫」という名で図書の手配を行うなど、地域・社会との関わりを大切にした活動に積極的に取り組んでいる。



松阪市市政功労者等表彰式（フェイスシールド寄付）

紙小津産業株式会社 (松阪市)

「社員のイキイキ」が「お客様の成長」に繋がる。おかげさまで100周年。

包装資材の卸売事業、印刷や加工、紙器の製造、商品企画、パッケージデザイン、設計を行っている。「包装資材」を通じて、お客様企業の競争力強化を実現。お客様にとってその時一番必要となる包装資材を提案し、お客様の想いを実現している。

- 創業 1921年
- 従業員数 62人
- 資本金 4000万円
- 代表取締役社長 小津 雅彦



挑戦と成長

自ら挑戦し、自らの成長に意欲的な人材を育てるため、独自の社内研修制度を導入。研修テーマにあわせて講師は社内メンバーが務め、担当業務にとどまらず、業務の幅を広げていくことを目的として実施している。

また、業務時間の5%を自分と会社の未来への投資に充てることを目的とした「5%未来時間制度」を導入し、新商品開発・新規事業開発・既存業務の発展のため、各自テーマ設定をして研究を行っている。

「社員がイキイキと『挑戦と成長』を続けることが、顧客の競争力強化につながる提案を生み出すことに結びつき、『社員の意欲向上』『顧客の満足度向上』『会社の成長』は連動する」という考えのもと、社員のやる気を引き出す取組を実施している。



「5%未来時間制度」入賞者



松阪商工会議所主催の合同会社説明会へ参加

地域との関わりを大切に

取引先の大半は地元企業。包装資材を通じてお客様の競争力をパワーアップしていくことを目的に、お客様の近くに拠点を置き、地域密着型の事業を行っている。

また、社員は原則として地元から採用するなど、地元の雇用促進にも力を入れている。「地元と共に成長していく」ことをコンセプトに、地域経済の発展を支える企業として活動をしている。

お客様の想いを実現

ブランディングや課題解決の要望など、多様化するお客様のニーズに応えるため、デザイナーやCAD設計技術者を雇用し、デザインや設計を通じてお客様の想いやこだわりを実現している。

また、デザイン・設計機能を内製化することによる付加価値向上を図っており、県内では珍しい「立体物印刷機」を導入して立体物への印刷を可能とするなど、専門性の高いラインナップを充実させている。



デザイナー陣とその作品群

クラギ株式会社 (松阪市)

お客様から喜ばれるお店づくりを目指して

慶長8年(1603年)に松阪で種専門の商店として創業。種・苗・農業・園芸用品、農業機械、家庭菜園の専門店、三重県を中心に51店舗(2022年1月現在)出店している。「豊かなみのりにご奉仕する」を経営理念に、農家から家庭菜園を始める方まで、幅広くサポートをしている。

- 創業 1603年
- 従業員数 350人
- 資本金 5000万円
- 代表取締役社長 竹内 秀樹



地域ど密着の専門店

地域農業を支えるため、農家から家庭菜園を楽しむ方まで、お客様一人ひとりにアプローチし、それぞれのニーズを踏まえた商品・サービスを提供している。

農家の期待やお悩みに応えるには、専門知識が不可欠であるため、適切なアドバイス・提案ができるようにアドバイザー研修を行うなど人材育成に力を入れ、専門性の高い社員を育成することで、「お客様が求めるその先」へ応えられるよう努めている。



お客様一人ひとりに向き合う接客



子どもたちの田植え体験

地域と農家をつなぐ取組

農家の販路開拓のため、直売所「農家の産直市場みのり」を運営。「つくる人」と「食べる人」を繋ぎ、地産地消に取り組むことで、地域農業の活性化に貢献している。

地域に密着した経営を根幹としながら、CSR活動にも積極的に取り組んでおり、子どもたちの食育の一環としての農業体験(田植え・稲刈り)の実施や、地元の学校への花苗の寄贈など、農業の大切さを伝える活動を積極的に行っている。

差別化された商品・サービス

「400年以上続くタネ屋」という歴史が同社最大の特長。長年培ってきた知識やノウハウを活かして、自社農場で生産する多品種・良質な野菜苗・花苗を提供している。また新たなサービスとして鳥獣害対策事業をスタート。農家から家庭菜園を楽しむ人まで、鳥獣害に悩む顧客を幅広くサポートしている。

更に、農家とシェフのマッチングにも力を入れている。シェフに対しては農産物の提案を行い、農家に対してはシェフから受けた要望をフィードバックする。このような双方向のマッチングは、農家とのつながりが強みの「農業屋」ならではの事業展開である。



品揃え豊富な種売り場

三昌物産株式会社 (四日市市)

地域社会の発展を支え、皆様に愛される会社づくりを目指して。

三重県最大の飼料特約店として畜産飼料販売を行うとともに、鶏肉卸売、鶏肉を中心とした食品加工等を行っている。「食」を通じて生産者支援や食文化を創造するとともに、自然環境との調和を図りながら、総合的な食品事業を展開している。

- 創業 1948年
- 従業員数 153人
- 資本金 8000万円
- 代表取締役社長 渡邊 大雄



食を通じた地域とのつながり

農水産業の発展と活性化および地域社会への貢献のため、三重大学生物資源学部の優秀かつ経済的に厳しい状態にある学生を対象に、給付型奨学金制度「渡邊文二奨学金」を2004年から毎年実施し、未来ある学生の支援を行っている。

また、四日市市内の児童福祉施設へのクリスマスチキンの寄贈や、毎週土曜日にひとり親家庭等の小学生等を対象として関連会社の「招福亭」のお弁当を無償提供するなど、地域福祉に貢献する活動も積極的に行っている。



「渡邊文二奨学金」奨学生採用伝達式



環境に配慮したリサイクル飼料
「エコフィード」

環境活動 ～ SDGs への取組～

廃プラスチック類の燃料化、鶏肉等の食品残さの飼料化・堆肥化など、産業廃棄物の削減や再資源化を推進している。

また、食品ロスを減らすために、関連会社の三昌エコロジー株式会社において、食品残さを原料としたリサイクル飼料「エコフィード」の製造を行っている。これを東海エリアの配合飼料メーカーや商社に販売して有効活用するなど、循環型社会の形成に貢献する取組を行っている。

食の総合カンパニー

伊勢志摩サミットで県産加工食品の推薦品として選定された「伊勢名物 鶏めしの素」や、モンドセレクションを受賞した燻製商品など、独自性の高い商品の製造をはじめ、百貨店向けギフト商品や大手量販店のプライベートブランド商品の製造も行い、地元から全国へと販路拡大を行っている。

また、新鮮でおいしい自社の鶏肉商品を低価格で提供するため、2020年に工場直売所「サンショウ・マルシェ」をオープンした。生産現場から加工、食卓への提供まで、安心・安全をつなぐ「食の総合カンパニー」として、人と社会に愛される企業を目指している。



県産加工食品の推薦品
「伊勢名物 鶏めしの素」

株式会社 PlanB (四日市市)

「地域になくてもならない企業」を目指して

訪問看護・訪問介護等、在宅サービスに特化した事業「しらゆりケア」を開業。県立総合医療センター等、地域の医療機関との連携・24時間の医療体制により、医療依存度の高い利用者の受け入れを積極的に行うなど、安心安全に生活できる施設として在宅医療を支えている。

- 創業 2014年
- 従業員数 65人
- 資本金 300万円
- 代表取締役 浜中 俊哉



「働きやすさ」を追求した職場環境

開放感のあるフリーアドレスのオフィス、社員だけでなくその家族も利用可能な酸素ルーム、ランチビュッフェを無料提供するスタッフラウンジ、仕事の疲れを癒してくつろげるバルコニー、社員の一時託児や英会話教室など多様な用途で活用可能な会議室。これらはすべて、社員が働きやすく、リラックスできるようにとの思いで整備したもの。これによって、社員同士のコミュニケーションが促進され、緊密な情報共有も促される。

福祉を支えるために必要なのは何よりも人材であるため、いかに社員が働きやすい職場になるかを常に追求している。



開放感のある
フリーアドレスのオフィス



社内マニュアルサイト

安心して利用していただくための取組

利用者が安心して利用できる施設であるためには、利用者の状態を正確に把握できる社内システムは不可欠である。グループウェアや社内マニュアルサイトを活用するとともに、リアルタイムで利用者の状態を数値化して確認できる「ICT見守りシステム」を導入し、スタッフが職種の枠を超えて情報を共有することができる体制を整えている。これによって、全てのスタッフが質の高いサービスを提供できるようになり、利用者の満足度の向上につながっている。

地域に求められる施設として

24時間看護師常駐のナーシングホームを開業し、医療ニーズが高い利用者に対して、24時間365日、自宅でも施設でも生活から医療までを支えるサービスを提供している。

また、地域の高齢者の孤食をなくそうと、独居高齢者に無料で昼食を提供する「シルバー食堂」も運営している。

開業以来積み重ねてきたこれらの取組が、地域からの信頼を得ることにつながる。同社は、常に「地域になくてもならない企業」を目指している。



CSR活動「シルバー食堂」

三重化学工業株式会社 (松阪市)

多様性との協働と社員の当事者意識向上によるレジリエントカンパニーへ

主力の保冷剤・保冷具の製造・販売事業で60年以上にわたり蓄積したノウハウを活用し、新たに医療機器分野に参入。「三重から『守るもん』創る会社」として、作業者の手を守る作業用手袋、鮮度を守る保冷剤、健康を守る保冷保温・医療機器、安全作業用品等を製造している。

- 創業 1956年
- 従業員数 59人
- 資本金 2300万円
- 代表取締役社長 山川 大輔



「社員の幸福」を第一に

経営理念の第一に掲げるのは「社員の幸福」。「社員みんなが幸せになって欲しい」という思いを何よりも大切にしており、個々の多様性を尊重する環境づくりに取り組んでいる。

社員のライフスタイルの変化に対応した社内制度の整備によるワークライフバランスの実現や、社員が自ら当事者意識を持てるように促す社員育成など、社員が幸福を感じられるよう、柔軟な適応力としなやかさを持つ会社として発展し続けている。



各部署から女性社員が集まり
商品開発に取り組む



地元小学生の社会見学

三重化学があることが地域貢献につながる

「地域に存在し続けることが地域貢献」という想いのもと、積極的に地域社会にも関わっている。

地域の雇用の場として存在しながら、地域社会で活躍する未来の人材を育成するための取組にも力を入れ、地元の小中高生を対象とした社会見学や製造体験、「松阪高校SSH（スーパーサイエンスハイスクール）」の連携先企業としての参加などを実施。子供たちに学びの場を提供することは社員のやりがいや自信にもつながっている。

多様な人材が集うコ・クリエーションの場 ～ミエラボ～

多様な知見を取り込むプラットフォームとして活用するため、2020年7月に新たな部門「ミエラボ」を立ち上げた。外部の人材・企業・団体などが、企業や組織の枠を超えて協働し、技術開発や製品化に取り組むことを目的としている。人材や知見を自在に融合させて新しい商品を産み出すことで、自社と関連先、それらを取り巻く地域の発展につなげていく。

2022年2月には、ミエラボのオフィスが完成。多くの人を巻き込む共創企業として、さらに多くのイノベーションを生み出しながら、より一層の発展を目指す。



オープンイノベーションの空間
「ミエラボ」

三重電子株式会社 (明和町)

経営理念に基づき、関わる全ての人を笑顔にする「スマイル経営」

液晶・有機EL等の表示機器や自動化設備・検査装置等のFA設備の設計・製造・販売、電子機器の受託生産を行っている。また、新たに健康事業に参入し、抗菌剤の卸売りを行うなど、多角的に事業を展開している。

- 創業 1969年
- 従業員数 82人
- 資本金 5000万円
- 代表取締役社長 林 雅哉



Smile のあふれる社内

同社の考える「おもてなし経営」とは、名付けて「スマイル経営」。そのため、経営理念も「その先の笑顔つくる」。ものづくりを通じて顧客・社会・未来を笑顔にすること、そして、その「笑顔」を作る社員に仕事と会社に対する誇りを持ってもらうことを経営の目的としている。

経営理念を浸透させるために、社員にはクレドカードを配布し、「ものづくり」とは、「もの」だけでなく「笑顔」も作ることでであると説く。社内報のタイトルは「Monthly Smile Letter」。制服であるポロシャツの名称は「スマイルウェア」。いつも社内に「笑顔 = Smile」が溢れている。



社内報「Monthly Smile Letter」



委員会ミーティング

社員の自発的な成長を促す取組

同社では、社内改善提案制度を「改善の木」活動と呼び、「改善の木」を用いながら、業務改善や職場環境向上に関するアイデアを積極的に出すように促し、社員一人ひとりが主体性をもって、自由に考える環境を整えている。

また、3つの委員会（安全衛生、ブランディング、改善の木）と3つの社内グループ（CSR、QMS向上、DX推進）を設け、部門横断的なコミュニケーション、リーダーシップ経験などの機会をすることで、長期視点での人材育成につなげている。

地域を笑顔にするための取組

CSR活動として、市民の健康増進のため、伊勢市へ寄付金と自社商品の抗菌剤を寄贈。寄付金は、健康増進に取り組む自社社員に対して同社が支給した「健康手当」の総額と同額を贈呈している。「社員の笑顔」と「地域の笑顔」を結び付けたのは、同社ならではの発想である。

また、地元明和町にも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自社商品の抗菌剤やポリ手袋を寄贈しているほか、CO2排出量削減などの環境保護活動にも取り組んでいる。

「その先の笑顔をつくる」の経営理念のもと、地域の一員である企業市民として、地域に貢献するための取組を推進している。



伊勢市へ寄付金・抗菌剤を寄贈

有限会社ラ・ディッシュ (朝日町)

みんな笑顔で、いつまでも安心して暮らせる、地域の未来を担います。

リハビリ+訪問鍼灸マッサージ「こころ四日市治療院・鈴鹿治療院」= 2事業所と、障害福祉サービス「ハッピーテラス四日市北教室・大矢知教室・富田教室」「相談支援事業所ハッピー」= 4事業所を運営。フランチャイズのノウハウを生かしながら、地域において独自性を発揮する取組を行っている。

- 創業 1998年
- 従業員数 40人
- 資本金 300万円
- 代表 長田 祐二



経営理念は「社員の幸せと地域格差のないサービス」

同社がフランチャイズで事業を実施するのは、全国レベルのサービスを地元四日市市で提供することが目的。フランチャイズのメリットを活かして高品質なサービスの運営ノウハウを手に入れ、四日市市では初めての障がい児向けの塾形式の教室の運営など、地域に求められる、他社と差別化されたサービスの提供を行っている。

全国レベルのサービスを提供しながら、運営に際しては地域の実情も踏まえた独自性も考慮する。高品質なサービスを提供することが、スタッフの満足度の向上にもつながっている。



全社員が集まる「経営計画発表会」



ハッピーテラスの授業風景

利用者の個性を踏まえたサービスの提供

「ハッピーテラス」では、子供たちが社会性を高めるための支援を行っている。トレーニングを通して「楽しさを生み出す関係作り」を学び、楽しく毎日を過ごすサポートを行っている。また、学習支援講座、高校生向けにワークサポート（就職支援）を開催するなど、それぞれのゴールに対し必要なアプローチを柔軟に行っている。

また、障がい児の保護者同士が交流できるような保護者向け講座や情報交換会も実施するなど、利用者の周りの環境のサポートにも力を入れており、利用者の信頼を得ている。

サービス向上のためのIT活用

同社では様々な場面でITが活用されている。毎朝のミーティングはZOOMを活用したWeb会議、また、情報のクラウド化を進め、社内会議の内容や業務マニュアル、社員全員のスケジュールなどはスマートフォンから確認できるようになっている。これにより業務が効率化されるとともに、社員同士のコミュニケーションが活性化され、連携や組織力の強化につながっている。

IT活用によって生まれた時間は、スタッフのスキルアップのための研修や、より質の高いサービスの提供のために充てられる。「社員の幸せと地域格差のないサービス」につなげるためのIT化である。



毎朝実施する
オンラインミーティング

これまでの受賞企業

令和2年度

- 株式会社宝輪（鈴鹿市）
- 株式会社ミツイバウ・マテリアル（松阪市）
- 株式会社四日市事務機センター（四日市市）

令和元年度

- 株式会社東産業（四日市市）
- 伊藤印刷株式会社（津市）
- 株式会社スズカ未来（鈴鹿市）
- 株式会社ファーストステップ（四日市市）

平成30年度

- 有限会社ウェルフェア三重（伊勢市）
- サンユー技研工業株式会社（津市）
- 辻製油株式会社（松阪市）
- ノザキ製菓株式会社（桑名市）
- 株式会社光機械製作所（津市）

平成29年度

- 株式会社ダイレクトカーズ（津市）
- トリックス株式会社（津市）

平成28年度

- おぼろタオル株式会社（津市）
- 株式会社コムデック（伊勢市）
- 株式会社鹿の湯ホテル（菟野町）

平成27年度

- 株式会社尾鍋組（松阪市）
- 株式会社クラユニコーポレーション（津市）
- 有限会社ギルドデザイン（亀山市）
- 株式会社みなみ製麺（伊勢市）

平成26年度

- 株式会社イセオリ（松阪市）
- 株式会社みつわポンプ製作所（東員町）
- エイベックス株式会社（桑名市）
- 株式会社山口工務店（伊勢市）
- 株式会社佐野テック（菟野町）
- 株式会社山下組（志摩市）
- 志摩環境事業協業組合（志摩市）

☆詳しくは、

三重のおもてなし経営企業選



で検索！

お問合せ先

三重県雇用経済部中小企業・サービス産業振興課

〒514-8570 三重県津市広明町13

TEL 059-224-2393

FAX 059-224-2078

E-mail chusho@pref.mie.lg.jp

発行：三重県